

廃棄物（ごみ）に関するアンケート調査

平成24年3月 山梨県森林環境部環境整備課

県民の廃棄物に対する考え方を把握するため、県政モニターによるアンケート調査を実施した。

1 アンケート調査の実施期間

平成23年6月～7月

2 県政モニター数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	312人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	57人
		合計 369人

3 回答数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	280人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	39人
		合計 319人

回答率 86.4%

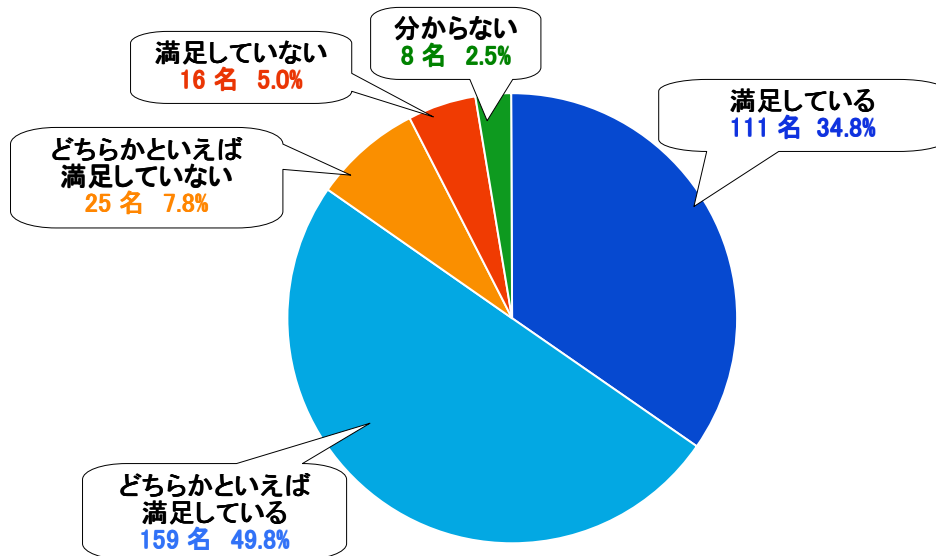
※集計の百分率は小数第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

4 集計結果

廃棄物（ごみ）についてお尋ねします。

【問1】 お住まいの地域の市町村が行っているごみの収集（収集回数や分別区分等）にどの程度満足していますか？（回答者：319名）

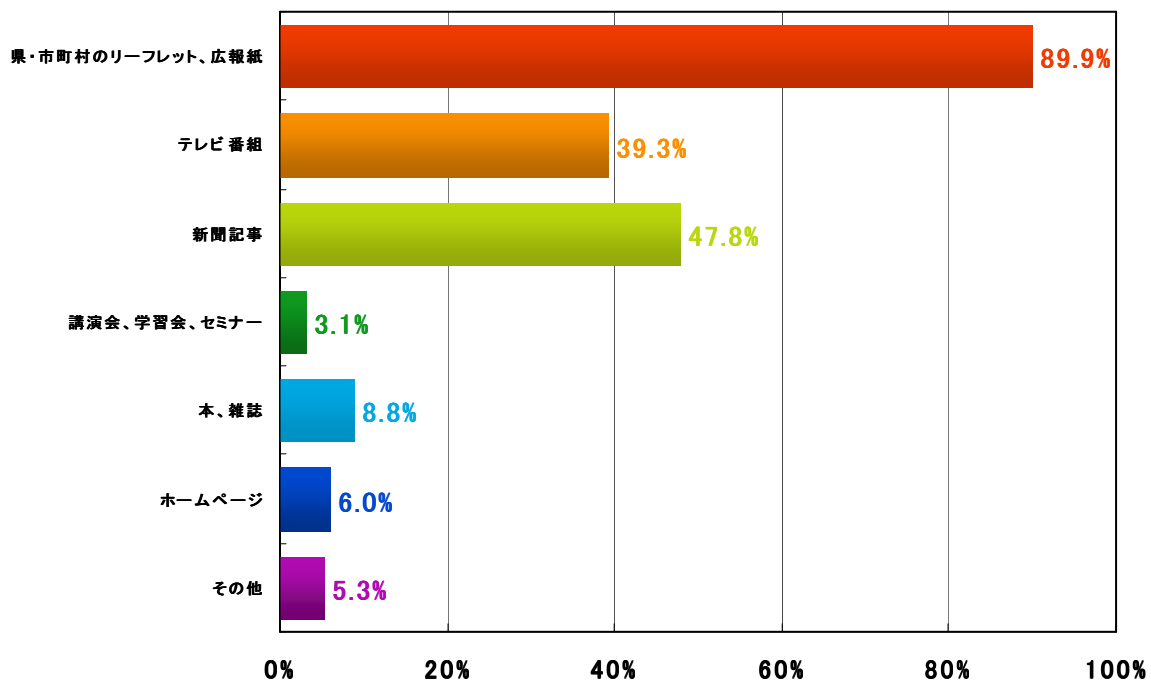
「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、84.6%でした。



【問2】 ごみ問題についての情報、知識はどこから入手していますか？（複数回答）

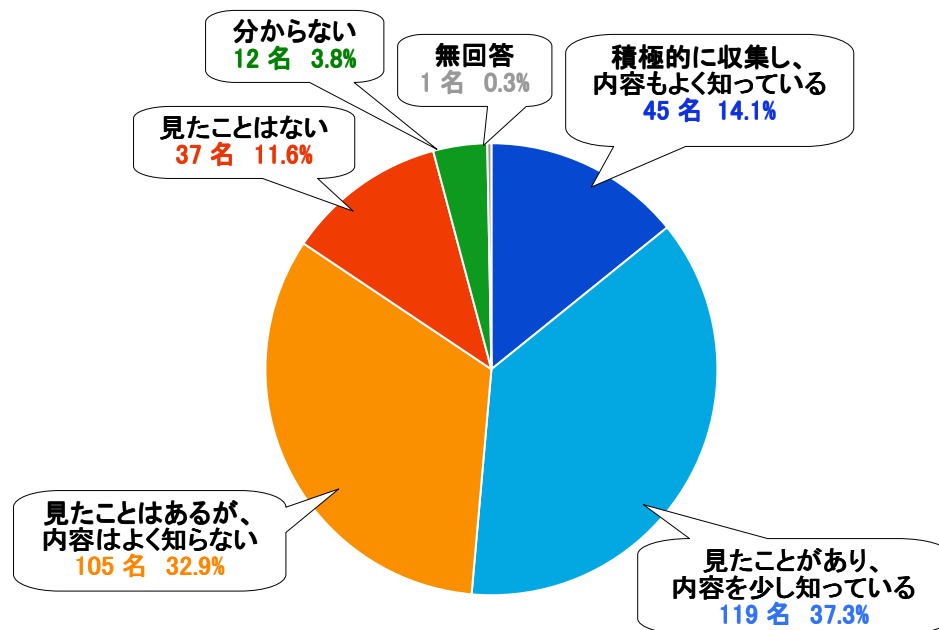
（回答者：319名）

「県・市町村のリーフレット、広報紙」という回答が89.9%、「新聞記事」という回答が47.8%、「テレビ番組」という回答が39.3%、「本、雑誌」という回答が8.8%、「ホームページ」という回答が6.0%、「講演会、学習会、セミナー」という回答が3.1%、「その他」という回答が5.3%でした。



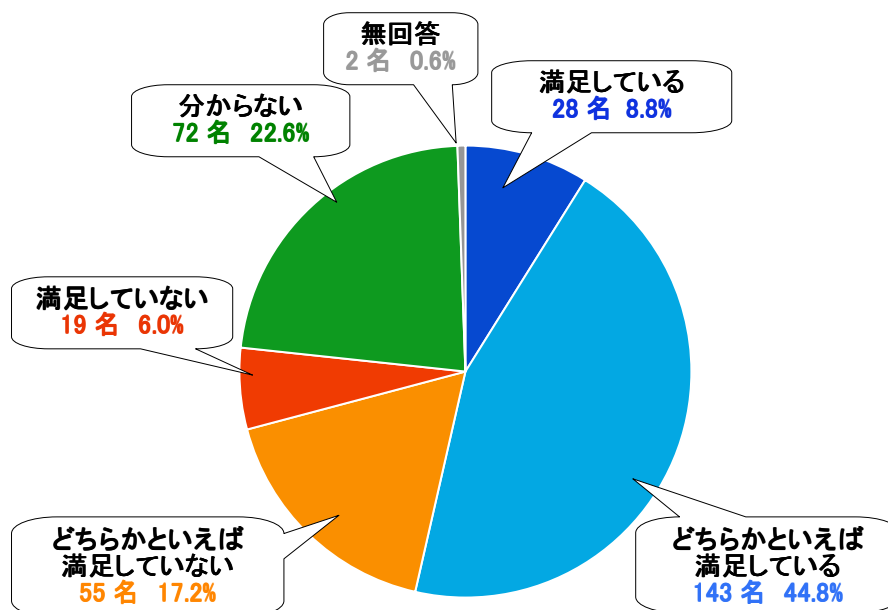
【問3】 ごみ処理や3R（排出抑制・再使用・再生利用）について、県や市町村が公開・提供している情報をどの程度知っていますか？（回答者：319名）

「積極的に収集し、内容もよく知っている」、「見たことがあり、内容を少し知っている」という回答が、51.4%でした。



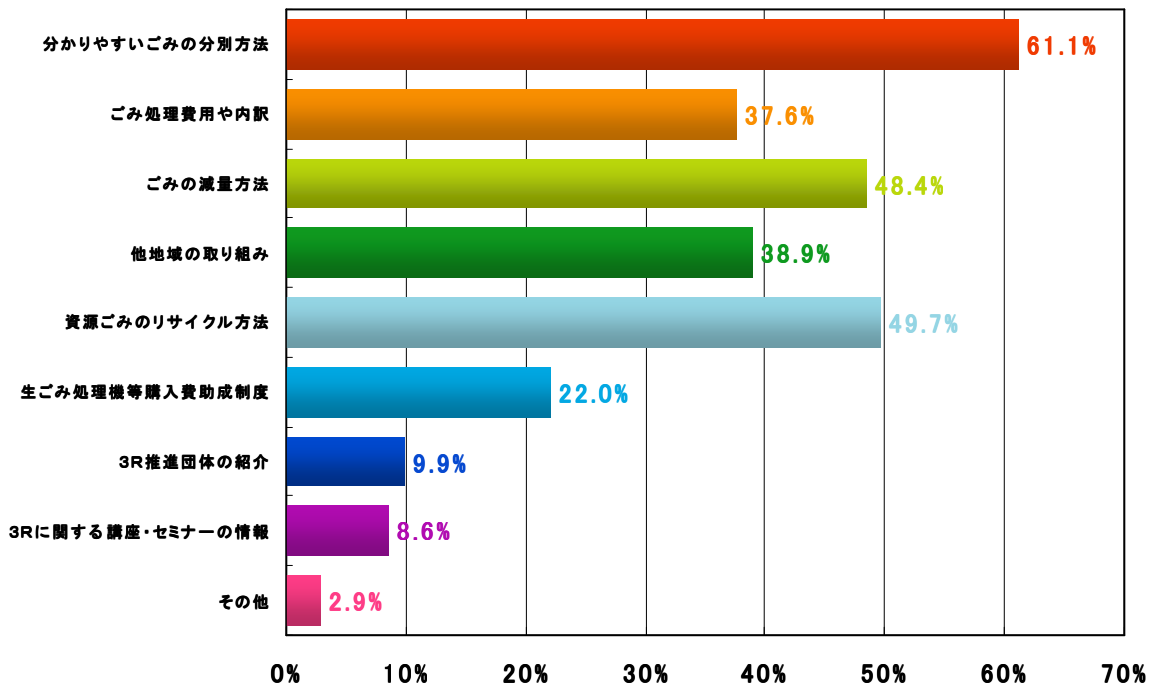
【問4】 ごみ処理や3R（排出抑制・再使用・再生利用）について、県や市町村が行っている情報の公開・提供にどの程度満足していますか？（回答者：319名）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、53.6%でした。



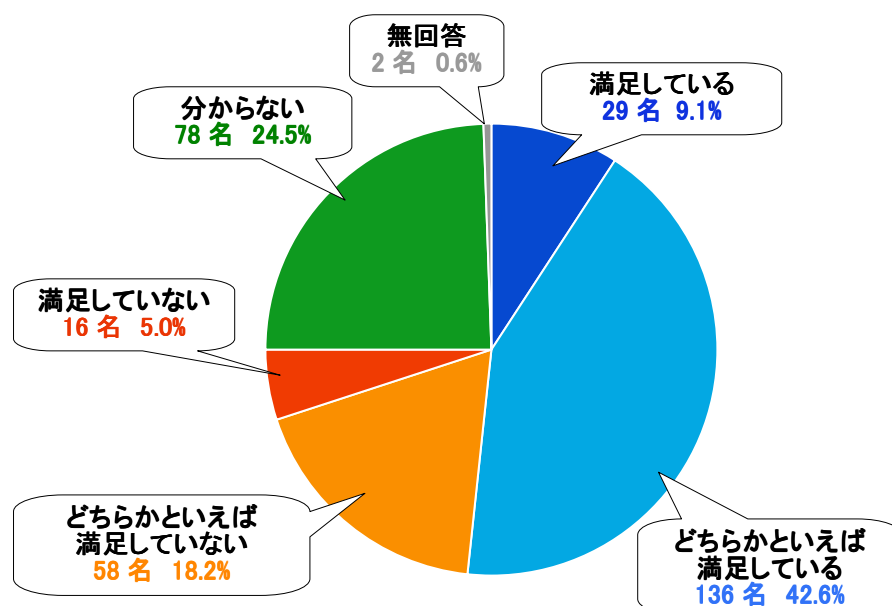
【問5】 ごみ処理や3R（排出抑制・再使用・再生利用）について、今後どのような情報が欲しいですか？（複数回答）（回答者：319名）

「分かりやすいごみの分別方法」という回答が61.1%、「資源ごみのリサイクル方法」という回答が49.7%、「ごみの減量方法」という回答が48.4%でした。



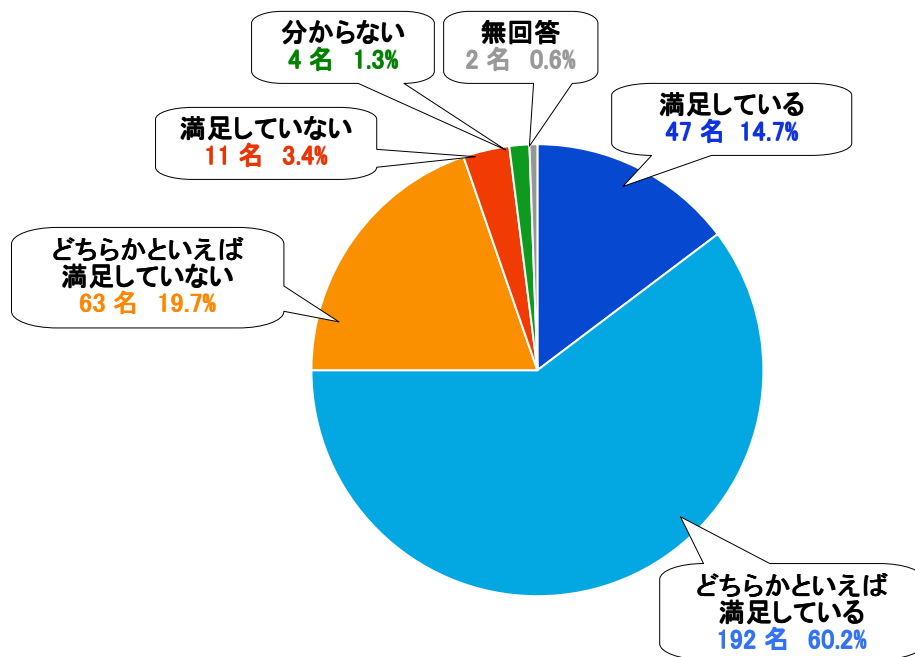
【問6】 県や市町村が行っている3R（排出抑制・再使用・再生利用）への取り組みにどの程度満足していますか？（回答者：319名）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、51.7%でした。



【問7】 お住まいの街の清潔さにどの程度満足していますか？（回答者：319名）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、74.9%でした。

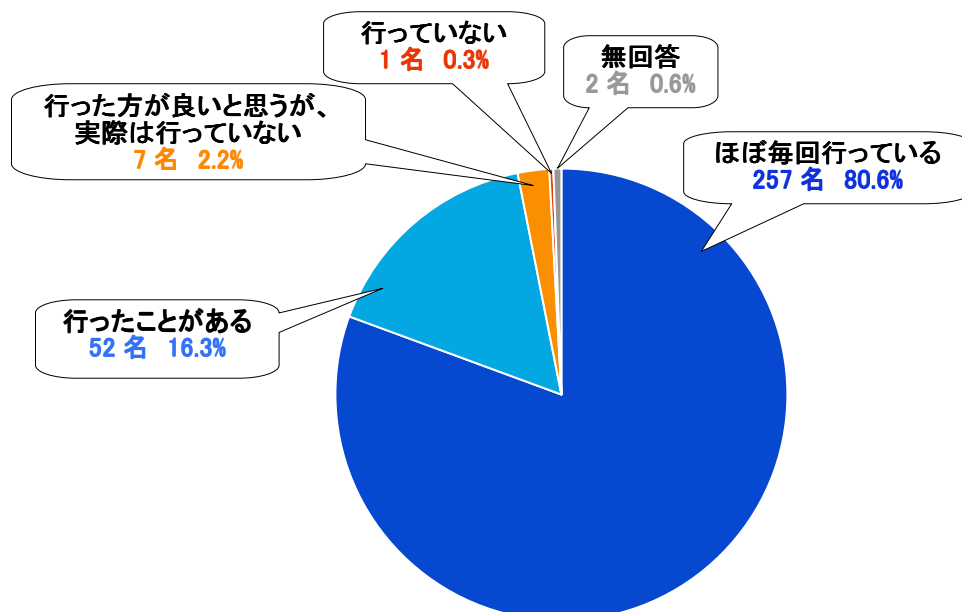


あなたが現在行っているごみ減量化の取り組みについてお尋ねします。

【問8】 ごみを減らすために、買い物袋を持参したり、レジ袋を断ったりしていますか？

（回答者：319名）

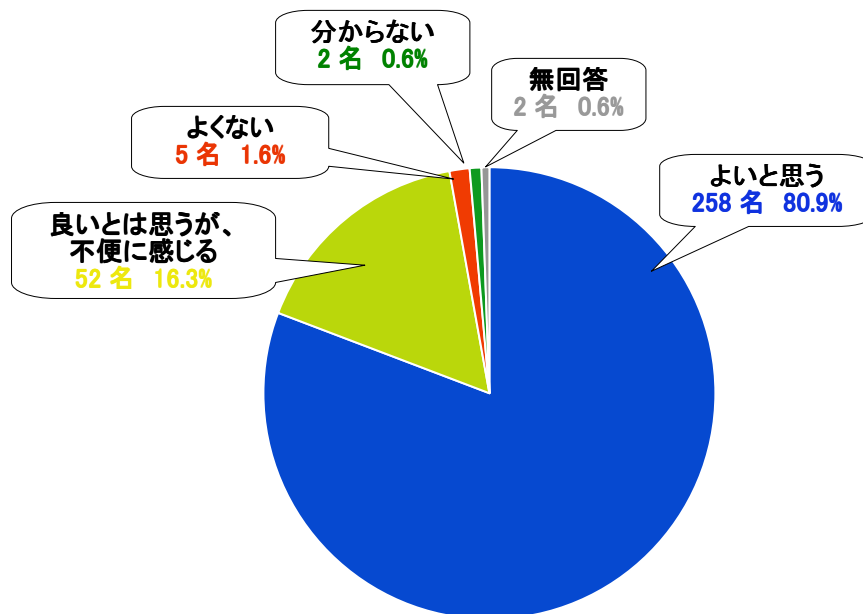
「ほぼ毎回行っている」、「行ったことがある」という回答が、96.9%でした。



【問9】 スーパーなどでレジ袋有料化が進んでいますが、どう思われますか？

(回答者：319名)

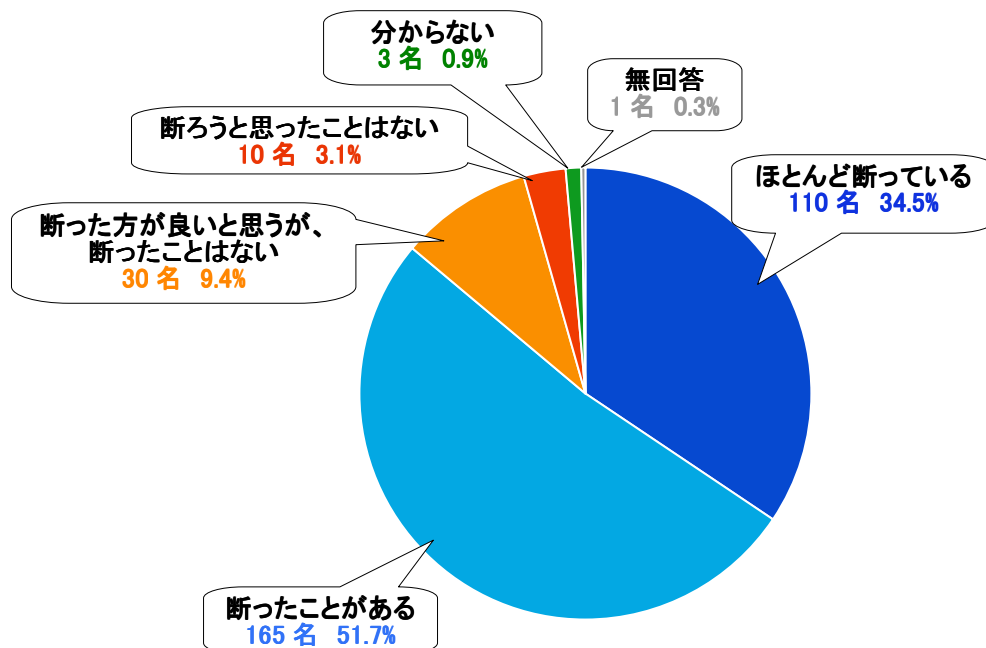
「よいと思う」という回答が、80.9%でした。



【問10】 ごみを減らすために、店での過剰包装や不要な包装を断っていますか？

(回答者：319名)

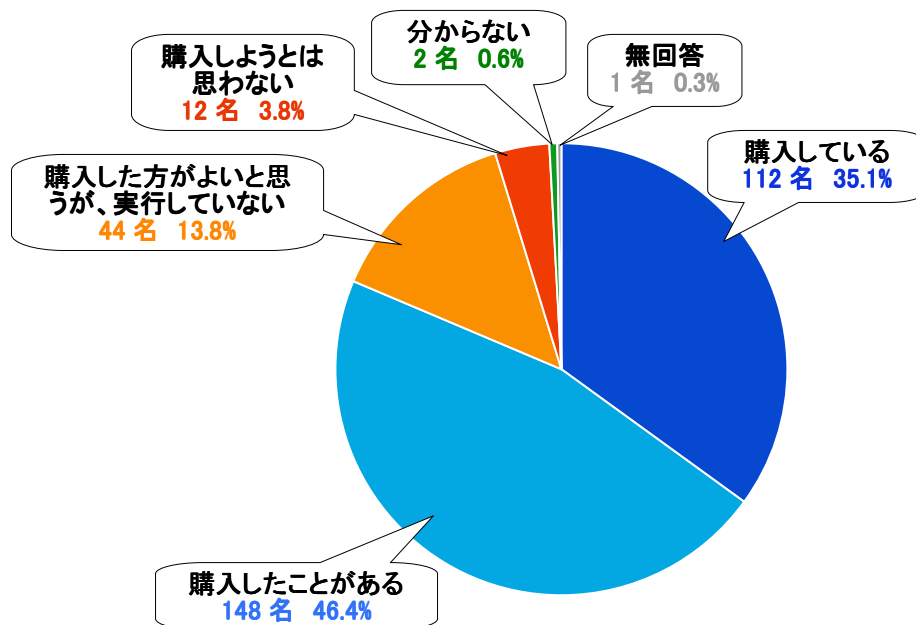
「ほとんど断っている」、「断ったことがある」という回答が86.2%でした。



【問1 1】 あなたは商品を購入するとき、包装されていないなどの、ごみが少なくなる商品や、長期間使用できる商品（使い捨て商品でないもの）を選んで購入していますか？

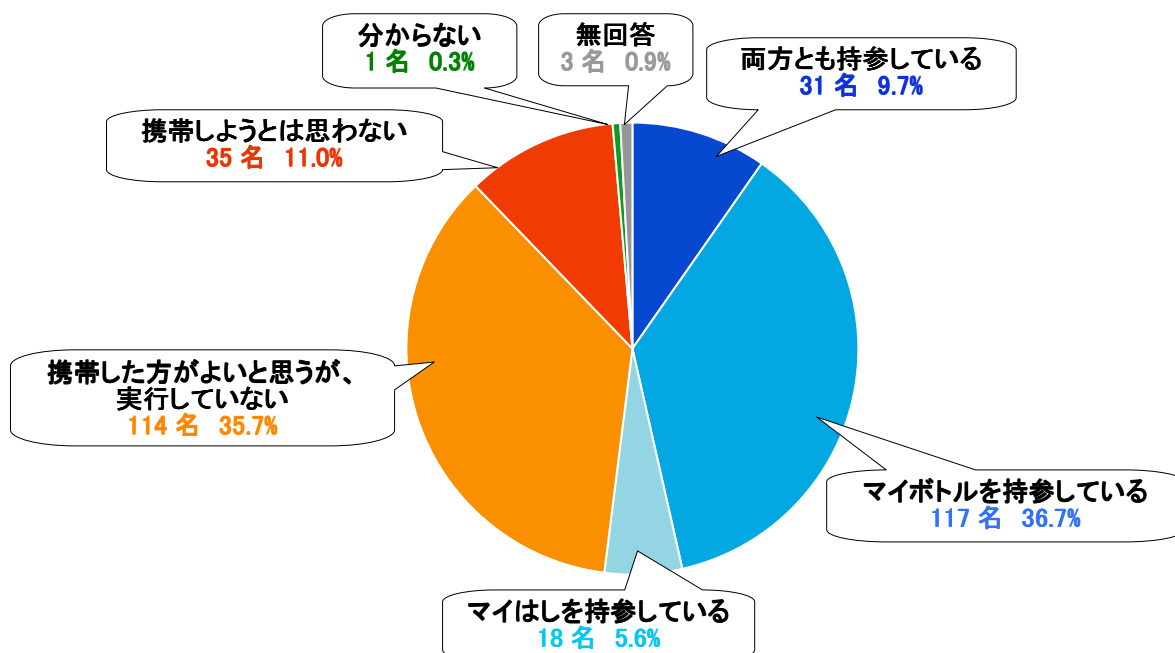
（回答者：319名）

「購入している」、「購入したことがある」という回答が、81.5%でした。



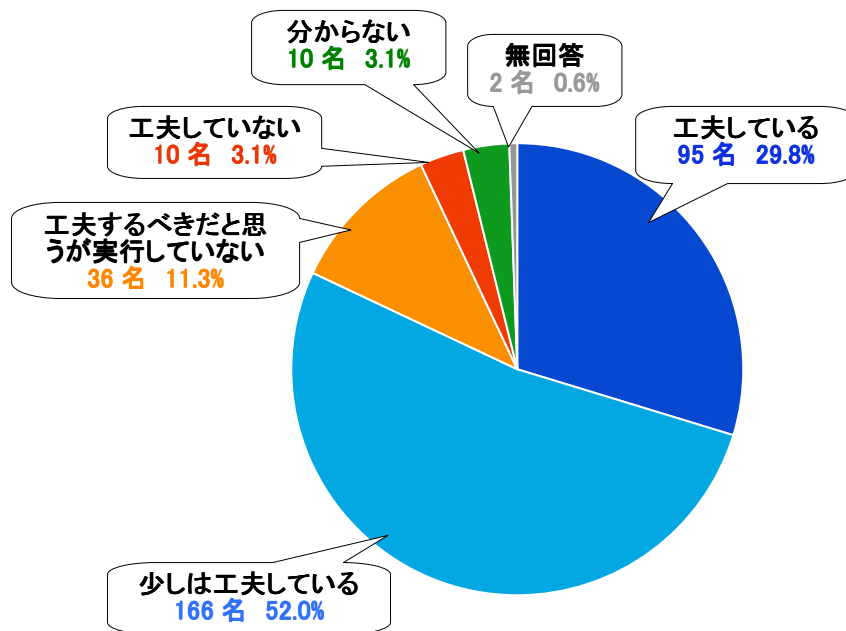
【問1 2】 ご自分の水筒等（マイボトル）やはし（マイはし）を携帯して、不要な容器や割りばしなどを断るようにはしていますか？（回答者：319名）

「両方とも持参している」、「マイボトルを持参している」、「マイはしを持参している」という回答が52%でした。



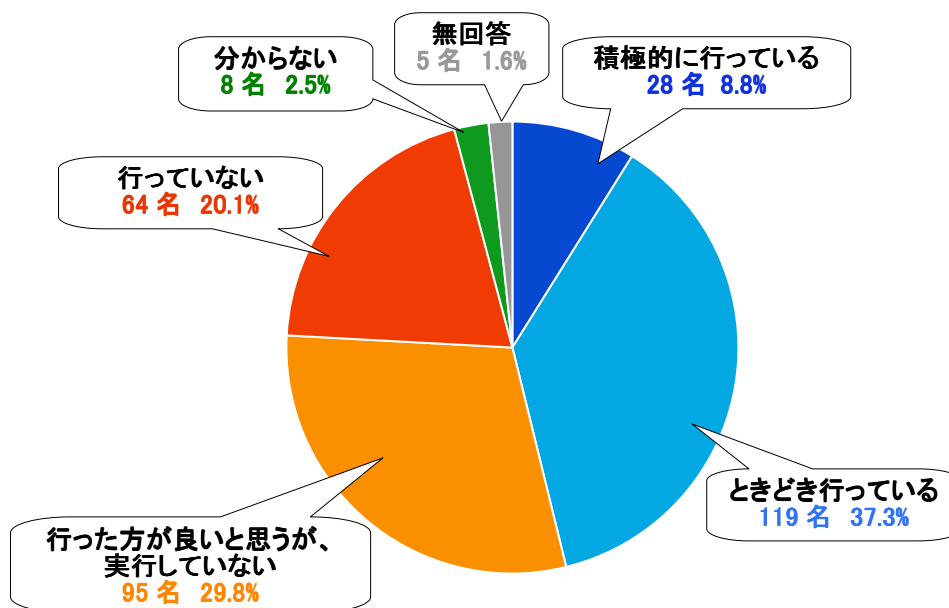
【問13】 残り物を利用するエコクッキングをしたり、食材の買いすぎ、作りすぎに注意するなど、生ごみを少なくするような工夫をしていますか？（回答者：319名）

「工夫している」、「少しは工夫している」という回答が、81.8%でした。



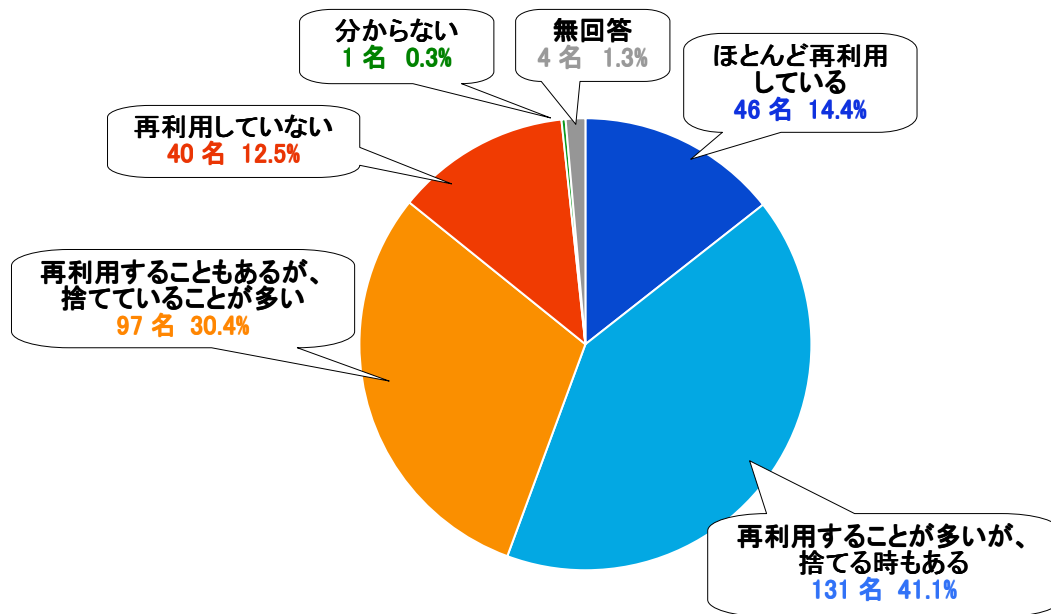
【問14】 一時的に必要な物については、レンタルなどの利用やリユース品（中古品）の購入などを行っていますか？（回答者：319名）

「積極的に行っている」、「ときどき行っている」という回答が、46.1%でした。



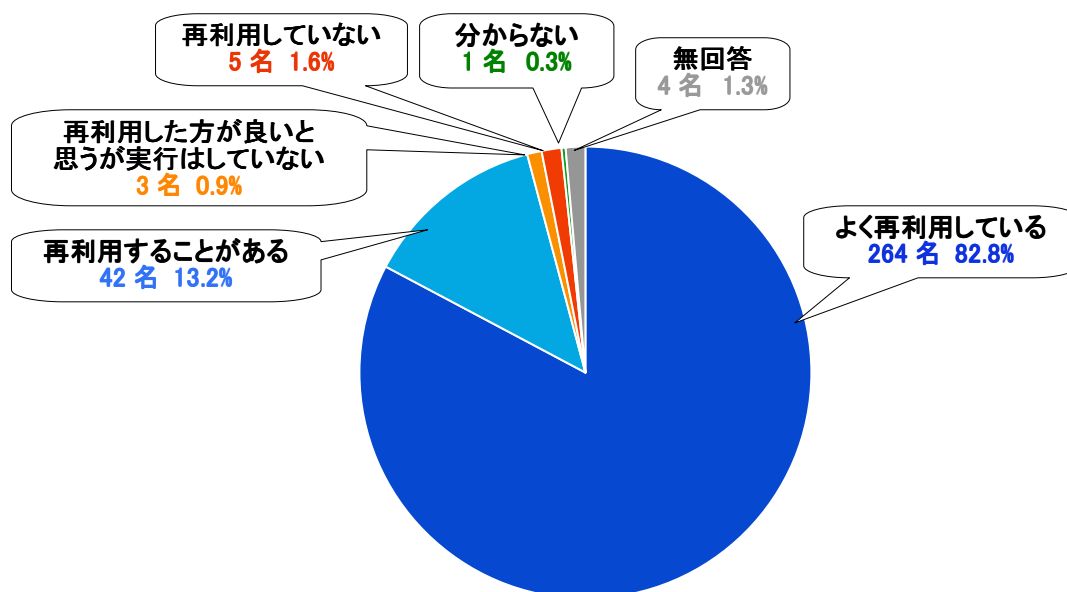
【問15】 古着などは捨てるずに、資源物の回収や、フリーマーケットに出したり、雑巾に加工するなど再利用していますか？（回答者：319名）

「ほとんど再利用している」、「再利用することが多いが、捨てる時もある」という回答が55.5%でした。

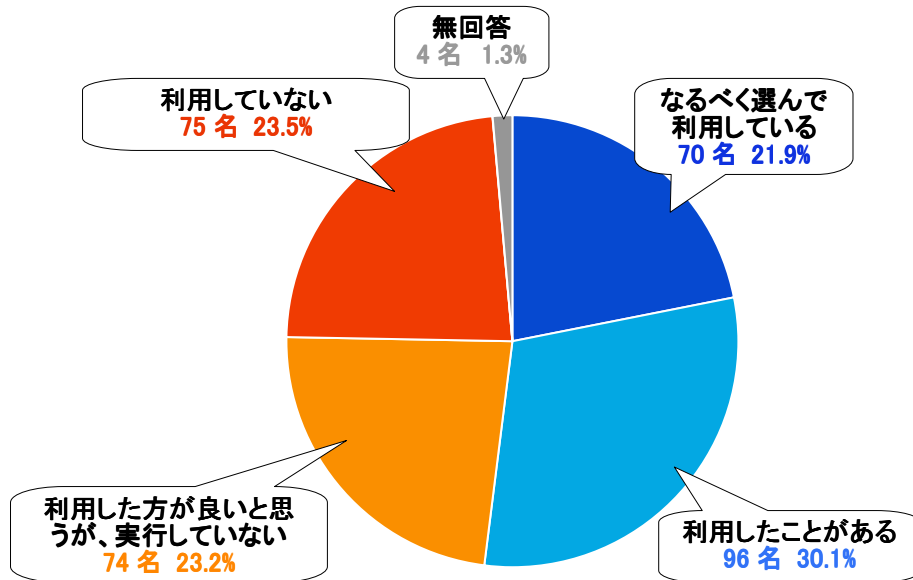


【問16】 洗剤やシャンプーなどは中味を詰め替えられる商品を選択し、容器の再利用（リユース）をしていますか？（回答者：319名）

「よく再利用している」、「再利用することがある」という回答が、96%でした。



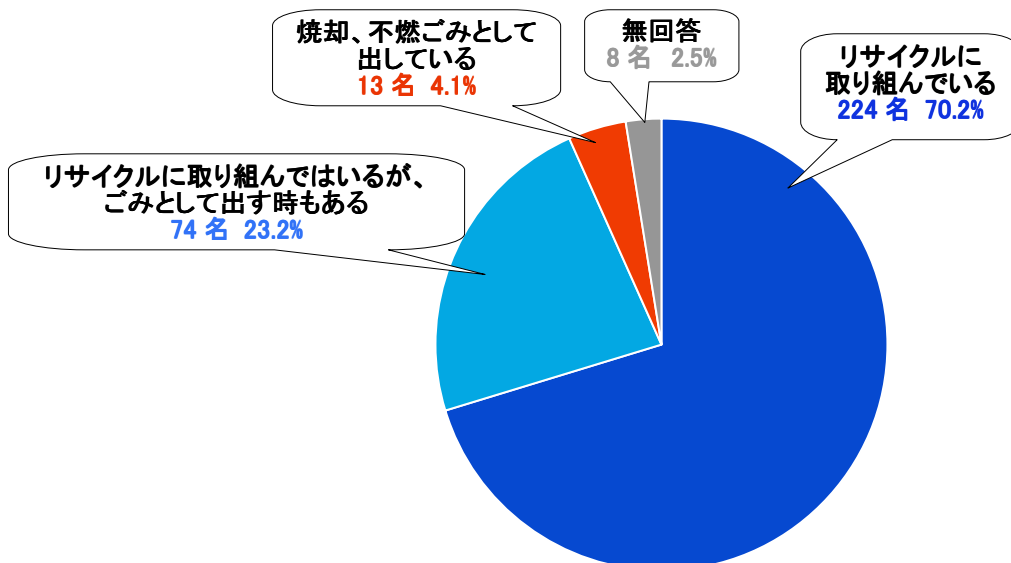
【問17】 ビン入りのビールやジュースを選んで購入し、飲んだら空きピンを店に返すなど、リターナブル容器（再使用が可能な容器）の利用に心がけていますか？（回答者：319名）
「なるべく選んで利用している」、「利用したことがある」という回答が、52%でした。



ごみのリサイクルについてお尋ねします。

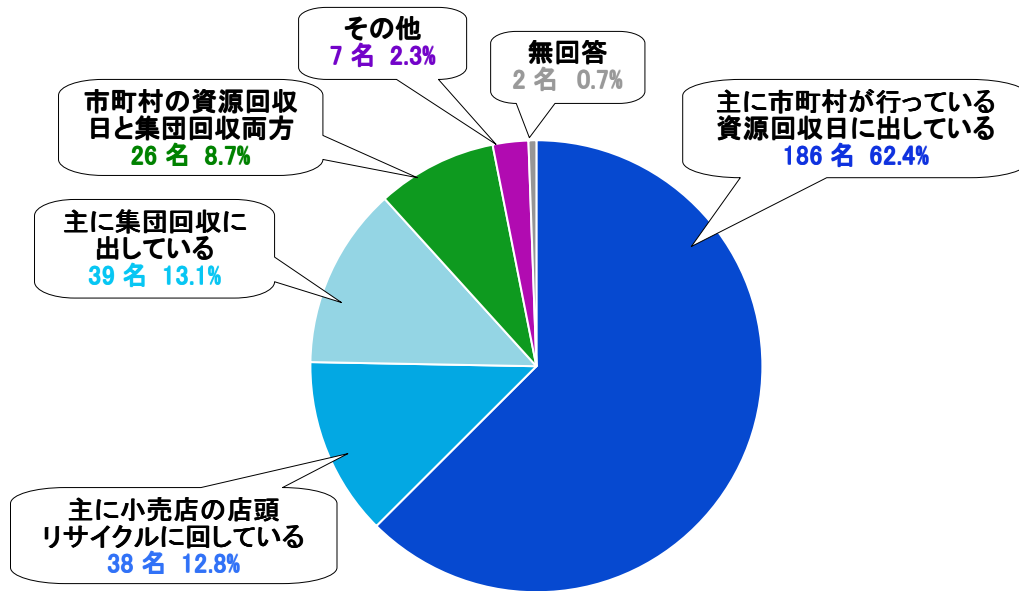
【問18】 ごみ減量化のため、缶、ビン、ペットボトルなどのリサイクルに取り組んでいますか？（回答者：319名）

「リサイクルに取り組んでいる」、「リサイクルに取り組んではいるが、ごみとして出す時もある」という回答が93.4%でした。



【問19】 問18で「リサイクルに取り組んでいる」又は「リサイクルに取り組んではいるが、ごみとして出す時もある」と回答した方にお聞きします。具体的にどのように取り組んでいますか。（回答者：298名）

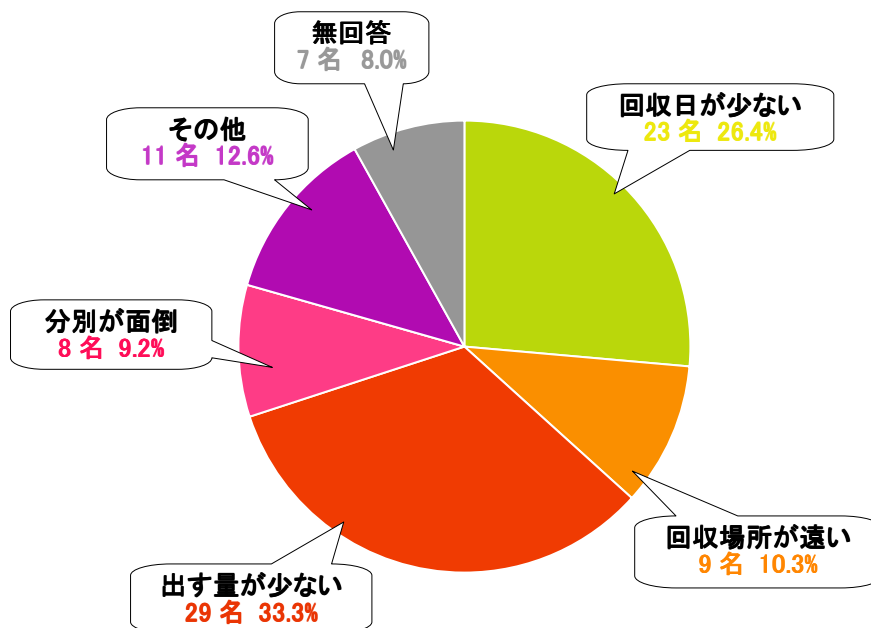
「主に市町村が行っている資源回収日に出している」という回答が、62.4%でした。



【問20】 問18で「リサイクルに取り組んではいるが、ごみとして出す時もある」又は「焼却、不燃ごみとして出している」と回答した方にお聞きします。リサイクルではなく、焼却ごみ又は不燃ごみとして出している理由で主なものを一つ選んでお答え下さい。

（回答者：87名）

「回収日が少ない」という回答が26.4%、「出す量が少ない」という回答が33.3%でした。



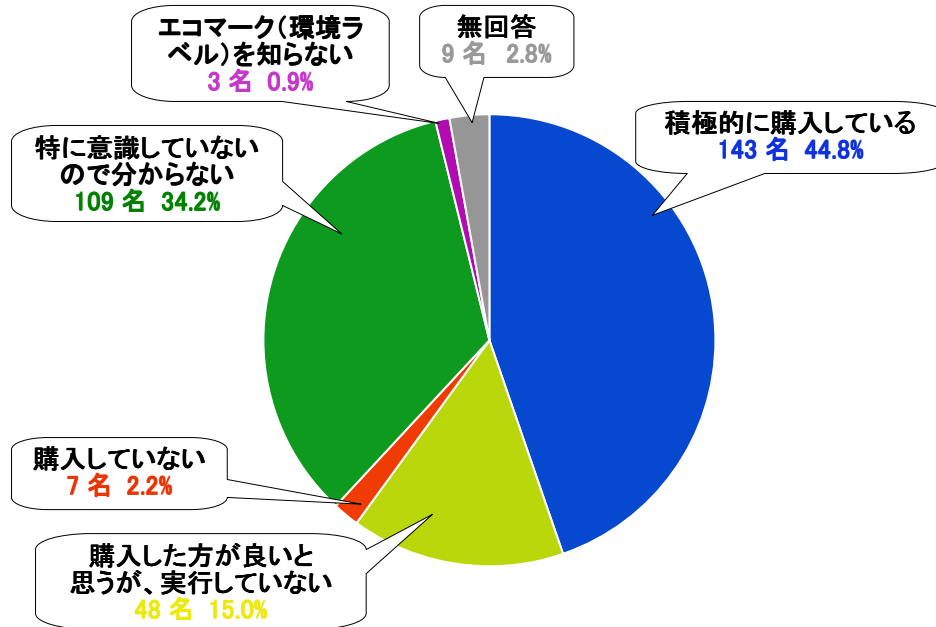
【問21】 エコマーク（環境マーク）など、環境にやさしい商品であることを表すマーク（いわゆる環境ラベル）の入った商品を購入していますか？（例 再生紙トイレットペーパー、再生原料の台所商品、再生原料使用の文具など）（回答者：319名）

環境ラベル 一例)



など

「積極的に購入している」という回答が44.8%でした。

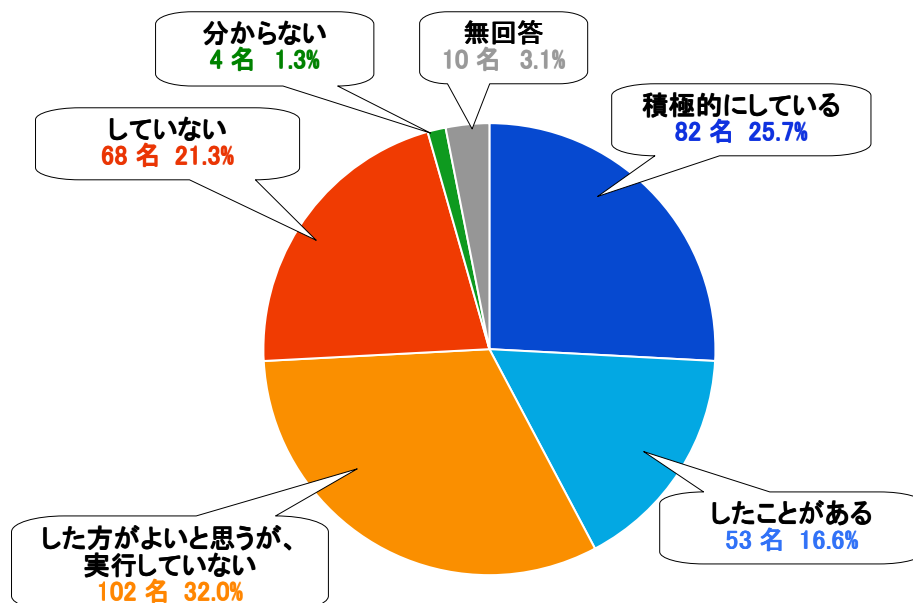


生ごみは可燃ごみの21.9%（重量比・H20年度実績）を占めていますが、その多くが焼却処理されています。ごみの減量化にとって、生ごみの処理は重要な課題です。そこで、生ごみについてお尋ねします。

【問22】 生ごみの減量化（乾燥など）、堆肥化等のリサイクルをしていますか？

（回答者：319名）

「積極的にしている」、「したことがある」という回答が、42.3%でした。



【問23】 生ごみを減らしていくにあたって、新たな具体的な取り組み等何かご意見をお持ちですか？

(主なご意見)

- ・野菜を調理する際は皮などもできるだけ使用し、生ごみを出さないようにしている。
- ・生ごみを出すときはよく水を切るということを各自が心がけると生ごみが減ると思う。
- ・昔のように計り売りでもものが買える環境であれば無駄がなくなると思う。
- ・スーパーなどは4～5人を想定した商品の陳列をしている。小家族に向けた商品を増やせば消費しきれずに廃棄することも少なくなるはず。
- ・スーパーに大型の生ごみ処理機が設置されていて、買い物に行ったときによく利用している。県内でこうした生ごみ処理機の設置が増えれば、利用者が増えて良いと思う。
- ・畑があるところでは生ごみを堆肥化して利用しやすいが、都市部では堆肥を利用しづらい状況であるので、リサイクルの仕方を地域によって考えていった方が良いと思う。
- ・生ごみのみの回収日を設けてほしい。
- ・生ごみ処理機の使用についてはにおいなど問題もあるので、そういった問題に対する対策やリサイクルについての分かりやすい情報提供があると、利用が増えるのではないかと。
- ・生ごみを減らす方法をテレビ、広報紙、パンフレット、実践指導などでPRすることによって、住民の意識が向上し、減量化につながると思う。
- ・行政主導ではなく、NPO法人、ボランティア、学校、会社など社会全体で減量化に取り組んで行けるように、県や市町村に生ごみ減量化コーディネーターを配置したらどうか。

山梨県民の1人1日当たりのごみの排出量は、H18年度実績が1,089g、H19年度実績が1,089g、H20年度実績が1,032gであり、H18年度以降減少しています。そこで、ごみ減量化についてお尋ねします。

【問24】 ごみを減らしていくにあたって、重要と思われることや新たな取り組み等何かご意見をお持ちですか？

(主なご意見)

- ・市に24時間リサイクルステーションができ、利用するようになってからはごみの量がかなり減ったので、このような施設を増やすことで、ごみ減量化につながると思う。
- ・分別方法の啓発については、お年寄りにも分かるようなわかりやすいものが必要だと思う。
- ・紙ごみの比率が高いので、ミックスペーパーに出すよう広報紙等で啓発したらよいと思う。
- ・市町村のごみ処理費用を公表し、処理にお金がかかることをもっとPRすればよいと思う。
- ・各市町村でごみ処理や分別回収の方法などが違うので、県で一本化し、県全体が同じように取り組むをしてごみを減らしていくべき。
- ・庭木の剪定枝などは焼却処分するのではなく、有機肥料にするなど有効活用する方向で検討する必要がある。
- ・ごみ処理の有料化を実施し、1人1人がコスト意識を持つことで、なるべくごみを減らそうと努力すると思う。
- ・商品を購入する際には、消費者側が過剰包装を断ることが大切だが、製造・販売側も過剰包装をしないよう努力する必要があると思う。